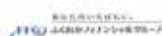


2010年度

## 環境活動レポート

(2010年4月～2011年3月)



News Release

福岡銀行

総務広報部 総務広報グループ  
 〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3  
 TEL 092-723-2801 FAX 092-721-5883  
<http://www.fukuokibank.co.jp>

平成23年3月●日

## 環境格付融資 FFG「エコ・ローン」の実行について

福岡銀行（頭取 谷 正明）は、環境保全活動への取組み強化の一環として、地元九州の環境に配慮した環境経営を行う企業を対象とした『環境格付融資 FFG「エコ・ローン」』を創設しています。このたび、下記の案件を融資実行致しましたのでお知らせいたします。  
 ふくおかフィナンシャルグループでは、地球環境の改善に取組むと同時に、今後も九州地区における皆様の環境保全活動のサポートに取組んでまいります。

## ■ 対象事業者

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 企業名   | 株式会社 新日本環境コンサルタント          |
| 所在地   | 福岡市南区長丘3-25-15             |
| 代表者   | 津村 英介                      |
| 業種    | 専門・コンサルティング業               |
| 製造製品等 | 水質調査分析、室内環境測定、肥料分析、廃棄物分析など |

## ■ 環境格付の評価ポイント

- ・毎年、詳細な「環境活動レポート」を作成し、その取り組み実績の評価まで公表するなど、企業として地球温暖化防止活動に積極的に取り組んでいる点。
- ・地域貢献活動として、長丘地区（福岡市南区）で24年間、地域の井戸を無料で水質検査している取り組みや、社員が交代で「大濠公園」や「樋井川」の清掃活動に継続して取り組んでいる点。
- ・当社が主要業務としている調査分析では、可能な限り有機溶剤を使用しない（廃棄物を出さない）分析方法を選択し、廃棄物の抑制（リデュース）に努めている点。

以 上

《 本件に関するお問合せ先 》  
 福岡銀行 営業推進部 担当 真田  
 TEL 092 - 723 - 2576

株式会社 新日本環境コンサルタント

2011年5月13日

# 目 次

|                                                   |    |
|---------------------------------------------------|----|
| 1 . 組織の概要 -----                                   | 2  |
| 2 . 対象範囲 -----                                    | 2  |
| 3 . 環境方針 -----                                    | 3  |
| 4 . 環境目標 -----                                    | 4  |
| 5 . 主要な環境活動計画の内容 -----                            | 7  |
| 6 . 環境目標の実績 -----                                 | 8  |
| 7 . 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容 -----                 | 8  |
| 7 . 1 二酸化炭素排出量の削減 -----                           | 8  |
| 7 . 2 廃棄物排出量の削減 -----                             | 8  |
| 7 . 3 総排水量の削減 -----                               | 9  |
| 7 . 4 地域の環境保全への貢献 -----                           | 9  |
| 7 . 5 その他の取組 -----                                | 10 |
| 7 . 6 次年度の取組内容について -----                          | 12 |
| 8 . 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価結果並び<br>に違反、訴訟などの有無 ----- | 13 |
| 9 . 代表者による全体評価と見直し結果 -----                        | 14 |

## 1 . 組織の概要

---

- 1.1 事業所名 株式会社 新日本環境コンサルタント  
代表者名 代表取締役 津村 英介
- 1.2 所在地 本社 〒815-0075 福岡市南区長丘3丁目 25-15  
研究所 〒815-0075 福岡市南区長丘1丁目 12-30
- 1.3 環境管理責任者 技術部長 木村 健  
担当者氏名 総務部長 山崎 仁子  
連絡先 TEL (092) 561-8716 FAX (092) 561-4791  
Eメールアドレス [shinnihon@enjec.com](mailto:shinnihon@enjec.com)  
URL <http://www.enjec.com>
- 1.4 事業の内容 濃度計量証明及び環境試験調査

## 2 . 対象範囲

---

- 2.1 事業者 株式会社 新日本環境コンサルタント
- 2.2 事業活動 濃度計量証明及び環境試験調査
- 2.3 対象事業所 本社 〒815-0075 福岡市南区長丘3丁目 25-15  
研究所 〒815-0075 福岡市南区長丘1丁目 12-30  
(2011年度に本社と研究所を統合の予定)

### 3 . 環境方針

---

2010年4月1日～5月10日の間

#### 環境方針

株式会社 新日本環境コンサルタントは、かけがえのない地球環境を守ることが私たちの使命と考え、環境負荷の低減に配慮した事業活動に取り組み、環境負荷を継続的に削減します。

- 1 . 事業活動において、エネルギーと水の消費量を削減します。
- 2 . 廃棄物は適正に処理を行い、削減とリサイクルに努めます。
- 3 . 環境関連法令を遵守します。
- 4 . 社会と地域の環境保全に貢献します。
- 5 . 環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

2009年5月28日

株式会社 新日本環境コンサルタント  
代表取締役 津村 英介

---

2010年5月10日以降

#### 環境方針

かけがえのない地球環境を守ることが私たちの使命であること、及び当社が環境コンサルタントであることを認識し、地域の環境保全に貢献すると共に環境負荷の低減に配慮した事業活動に取り組み、環境負荷を継続的に削減します。

- 1 . 事業活動において、エネルギーと水の消費量を削減します。
- 2 . 薬品を適正に使用し、廃棄物の削減とリサイクルに努めます。
- 3 . 環境関連法令を遵守します。
- 4 . 地域の環境保全活動を積極的に支援または実施します。
- 5 . 社会に貢献する環境技術者を養成し、保全技術の進歩に貢献します。
- 6 . 環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

2010年5月10日

株式会社 新日本環境コンサルタント  
代表取締役 津村 英介

## 4 . 環境目標

---

環境負荷の自己チェック結果及びこれまでの取組結果などをもとに、環境目標を設定しました。

二酸化炭素排出量の削減については、当社の排出源として、自動車の利用に伴う燃料の使用、都市ガスの使用及び電気の使用があります。自動車の燃料については、業務の範囲が九州一円で、毎年、自動車の走行距離が大きく異なること、また、都市ガスについても湯沸しに利用する程度で、使用量が少ないため、数値目標を掲げた取組としては実施しないこととしました。二酸化炭素排出量の削減目標量は使用エネルギーすべての総量で前年度比マイナス 1.5%とし、取組目標として電力の使用量を前年度比マイナス 2.0%としました。

廃棄物排出量の削減については、廃液・汚泥の排出量(廃棄物の最終処分量)の削減に取り組むと共に、用紙の購入量の削減と紙類のリサイクルを取組目標としました。廃液・汚泥の排出量の削減目標値は受注した分析業務の内容に左右されるため、前年度以下という目標に留めました。

総排水量の削減については、下水道放流であることから給水量の削減を目標とし、前年度比マイナス 2%としました。

その他、前年度に引き続き、当社が水質、土壌などの環境関連の計量業務を行っていることから、「地域の環境保全への貢献」を目標に掲げ、地域の井戸水の無料検査及び河川、池の清掃活動並びに天然記念物のツクシオオガツリの保全活動などを実施しました。

表 1 に過去 2 ヶ年の実績と 2010 年 4 月から 2011 年 3 月までの間、E A 21 を運用した結果を示します。「二酸化炭素排出量の削減」は、購入電力量が 3 年目で 20%の減少となり、ガソリン購入量などを含めた二酸化炭素の総排出量も環境目標を達成することができました。「廃棄物排出量の削減」は、紙購入量が 3 年間増加を続けており、また紙リサイクル量も減少しており、未達成となりました。「総排水量の削減」は、2010 年度については 2009 年度よりも減少しましたが、2008 年度と比べるとむしろ増加しており、取り組みを強化していく必要があると考えています。「地域の環境保全への貢献」については、定期的な清掃活動への参加及び環境資格の取得の二つの取組を実施しており、目標を達成しました。

表1 3年間の実績と中長期目標

| 環境目標                       | 取組目標                                          |             | 2008<br>年度    | 2009<br>年度    | 2010<br>年度    | 中長期目標<br>2013年度 |
|----------------------------|-----------------------------------------------|-------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|
| CO <sub>2</sub> 排出量の削減     | 購入電力量を含む省エネ (-1.5%)<br>総量(CO <sub>2</sub> Kg) | 目標          | 175,126       | 165,058       | 175,104       | 147,068<br>以下   |
|                            |                                               | 実績          | 167,572       | 177,771       | 153,891       |                 |
|                            | 購入電力量の削減 (-2%)<br>(Kwh)                       | 目標          | 330,764       | 311,716       | 315,088       | 241,148<br>以下   |
|                            |                                               | 実績          | 318,078       | 321,520       | 256,216       |                 |
| 廃棄物排出量の削減                  | 紙購入量の削減 (-2%)<br>購入量(枚)                       | 目標          | 182,100<br>以下 | 185,710<br>以下 | 242,550<br>以下 | 241,415<br>以下   |
|                            |                                               | 実績          | 189,500       | 247,500       | 256,500       |                 |
|                            | 紙リサイクルの促進(+3%)<br>利用量(Kg)                     | 目標          | 944<br>以上     | 2,675<br>以上   | 1,058<br>以上   | 811<br>以上       |
|                            |                                               | 実績          | 2,598         | 1,028         | 743           |                 |
| 廃液・汚泥の減量 (前年以下)<br>処分量(Kg) | 目標                                            | 7,817<br>以下 | 7,342<br>以下   | 6,301<br>以下   | 7,278<br>以下   |                 |
|                            | 実績                                            | 7,342       | 6,301         | 7,278         |               |                 |
| 総排水量の削減                    | 節水の実施 (-2%)<br>水量(m <sup>3</sup> )            | 目標          | 2,432<br>以下   | 2,253<br>以下   | 2,533<br>以下   | 2,361<br>以下     |
|                            |                                               | 実績          | 2,299         | 2,585         | 2,509         |                 |
| 地域の環境保全への貢献                | 地域環境活動への参加 (1点/人)<br>社員の環境資格の取得 (5点/人)        | 目標          | 15以上          | 30以上          | 30以上          | 30以上            |
|                            |                                               | 実績          | 19            | 67            | 44            |                 |

排出係数は 0.369Kg-CO<sub>2</sub>/kwh (平成 21 年度,九州電力)

表2に来年度の目標を示します。削減率の目標値は2010年度と同様にしました。来年度はエコアクション2.1ガイドラインの2009年度版への移行に関連して、環境目標として「化学物質使用量の削減」、「グリーン購入の推進」、「サー

ビスの環境配慮」の三項目を追加しました。

表2 今年度実績と来年度の目標

| 環境目標                   | 取組目標                   | 単位                        | 2010 年度 | 2011 年度    |
|------------------------|------------------------|---------------------------|---------|------------|
| CO <sup>2</sup> 排出量の削減 | 購入電力量の削減を含む省エネ (-1.5%) | 年間総量 (CO <sub>2</sub> Kg) | 153,891 | 151,582 以下 |
|                        | 購入電力量の削減(-2%)          | 年間電力量 (Kwh)               | 256,216 | 251,091 以下 |
| 廃棄物排出量の削減              | 紙購入量の削減 (-2%)          | 年間購入量 (枚)                 | 256,500 | 251,370 以下 |
|                        | 紙リサイクルの促進 (+3%)        | 再利用量 (Kg)                 | 743     | 765 以上     |
|                        | 廃液・汚泥の減量 (前年以下)        | 処分量 (Kg)                  | 7,278   | 7,278 以下   |
| 総排水量の削減                | 節水の実施 (-2%)            | 年間総量 (m <sup>3</sup> )    | 2,509   | 2,458 以下   |
| 地域の環境保全への貢献            | 地域環境活動への参加             | 1点 / 1回                   | 44      | 30 以上      |
|                        | 社員の環境資格の取得             | 5点 / 1人                   |         |            |
| 化学物質使用量の削減             | PRTR 物質の削減             | 年間使用量 (Kg)                | なし      | 年間使用量の把握   |
|                        | 毒物・劇物の削減               | 期末在庫量 (Kg)                | なし      | 期末在庫量の把握   |
| グリーン購入の推進              | グリーン製品購入量の増加           | 購入額 (円)                   | なし      | 月間購入額の把握   |
| サービスの環境配慮              | 分析試薬の低毒化               | 実施件数 (件)                  | なし      | 1 件以上      |

## 5 . 主要な環境活動計画の内容

---

環境活動の実行については、「エコアクション活動手順書」を作成し、それを基に活動しました。活動の内容は以下の通りとしました。

### 5.1 二酸化炭素排出量の削減（前年比 1.5%削減）のための取組

購入電力量の削減（使用量の 2 %削減）

エアコンの適温化の徹底

エアコンの保守点検

昼光の利用、不在時の消灯、昼休みの消灯

自動車のエコ運転活動

### 5.2 廃棄物排出量の削減のための取組

紙購入量の削減（前年度比 2 %削減）

両面コピーの実施、片面使用紙の再利用

紙類のリサイクル（前年度比 3 %増）

段ボール等のリサイクル

廃液・汚泥の減量化（前年度以下）

廃棄物の法令に基づく適正処理の実施

廃液・汚泥の減量化（前年度以下）

### 5.3 総排水量の削減のための取組

節水の実施（前年度比 2 %削減）

水道水の漏水のチェック

節水活動の推進

### 5.4 地域の環境保全活動への貢献

環境活動への参加と環境資格の取得

大濠公園と樋井川の環境活動

社員の環境資格取得の支援

### 5.5 その他の取組

地域の井戸水の無料検査

希少水生植物のツクシオオガヤツリの保全活動

環境活動レポートの作成、公表



## 6 . 環境目標の実績

---

本年度の環境目標の実績は表1のとおりです。「二酸化炭素排出量の削減」は、購入電力量が20%減少したため、二酸化炭素排出量の総量も8%減となり、目標値を達成することができました。「廃棄物排出量の削減」は、「紙購入量の削減」、「紙リサイクル量の促進」及び「廃液・汚泥の減量」の三項目のすべてで未達成でした。「総廃水量の削減」は、マイナス3%で目標を達成することができました。「地域の環境保全への貢献」は、地域環境活動への参加が一人1点、環境資格の取得が一人5点として、目標を30点に設定し取り組んだ結果、実績は44点で達成することができました。

## 7 . 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

---

### 7.1 二酸化炭素排出量の削減

| 取組目標          | 単位         | 2010年度目標   | 実績      | 達成 |
|---------------|------------|------------|---------|----|
| 購入電力量の削減(-2%) | 年間総量 (Kwh) | 315,088 以下 | 256,216 |    |

二酸化炭素排出量の削減のための取組として「購入電力量の削減」を実施しました。分析機器などの使用の際に省エネルギーを心がけることを徹底することにより、20%の電力量を削減することができました。

### 7.2 廃棄物排出量の削減

| 取組目標           | 単位        | 2010年度目標   | 実績      | 達成 |
|----------------|-----------|------------|---------|----|
| 紙購入量の削減(-2%)   | 年間購入量(枚)  | 242,550 以下 | 256,500 | ×  |
| 紙リサイクルの促進(+3%) | 再利用量 (Kg) | 1,058 以上   | 743     | ×  |
| 廃液・汚泥の減量(前年以下) | 処分量 (Kg)  | 6,301 以下   | 7,278   | ×  |

#### 7.2.1 紙購入量の削減

今年度の年間の紙購入量は目標値より、約4%増で未達成となりました。その原因は報告書の作成数の増加によるものと考えています。下書き時には片面

未使用紙を再利用するなど、用紙の使用量の削減活動をさらに徹底していきます。

### 7.2.2 紙類のリサイクルの促進

紙類のリサイクル量の目標はプラス3%に設定して活動しましたが、達成することができず逆に28%の減少となりました。未達成となる理由については、リサイクル可能な紙（廃棄書類、古い本類）の社内保存総量の減少が原因の一つに挙げられます。

### 7.2.3 廃液・汚泥の減量

廃液・汚泥の減量目標は前年度並みとしましたが、実績は16%増となり、未達成でした。廃液・汚泥の内容は実験室から出る試験廃液及び分析に供した土壌や汚泥の残分であることから、より廃液を少なくすることを常に考えながら分析業務を行うこと及び土壌サンプルについては、持込量をできるだけ必要最小限にするなどの活動を徹底します。

## 7.3 総排水量の削減

| 取組目標       | 単位                    | 2010年度目標 | 実績    | 達成 |
|------------|-----------------------|----------|-------|----|
| 節水の実施（-2%） | 年間総量(m <sup>3</sup> ) | 2,533以下  | 2,509 |    |

総排水量の削減のために「節水の実施」に取り組みました。水道水の年間使用量の目標をマイナス2%として活動を実施し、3%の減少となり、達成することができました。

## 7.4 地域の環境保全への貢献

| 取組目標       | 単位    | 2010年度目標 | 実績 | 達成 |
|------------|-------|----------|----|----|
| 地域環境活動への参加 | 1点/一人 | 30点以上    | 44 |    |
| 社員の環境資格の取得 | 5点/一人 |          |    |    |

### 7.4.1 地域環境活動への参加

大濠公園と樋井川の清掃活動に、のべ14人が参加しました。大濠公園の環境活動としては、毎月1回、実施されている大濠公園クリーンアップ隊の清掃活動に、毎回、2名ずつの参加を目標として参加しています。

樋井川の環境活動では、地域の住民で組織している「樋井川を楽しむ会」が実施している清掃活動に参加しています。このボランティアグループは小学生を含めた住民と共に、河川の一斉水質調査も実施していることから、今後、そのような行事に参加していきたいと考えています。



写真1 樋井川の清掃風景



写真2 大濠公園の清掃風景

#### 7.4.2 社員の環境資格取得

「エコアクション活動手順書」に社員が環境資格を取得する際の講習会への参加費、受験費の支援、また、資格取得した際には「資格手当」を明文化するなど、社員の環境資格取得の支援を行っています。本年度内では、のべ6名が作業環境測定士、環境計量士、土壌汚染調査技術管理者の資格を取得しました。環境資格の取得は本人及び当社のみならず広い意味での社会環境の三者にとって有意義なことと考えており、毎年、支援を続けていく予定です。

当社で指定している資格は以下のとおりです。

技術士、 技術士補、 環境計量士（濃度）、 環境計量士（騒音、振動）、  
作業環境測定士1種、 作業環境測定士2種、 臭気判定士、 放射線取扱  
主任者、 特別管理産業廃棄物管理責任者、 水道技術管理者、 土壌汚染調  
査技術管理者

#### 7.5 その他の取組

##### 7.5.1 地域の井戸水の無料検査

当社は水質分析を業務としていることから、地域の井戸水の無料検査を環境活動として、実施しました。2010年8月に地域のコミュニティ紙「まい、たうん」で無料検査することをよびかけたところ、68件の依頼がありました。実施後、依頼者からお礼の手紙や御茶菓子を頂くなど、地域との繋がりができると

共に当社のPRともなり、たいへん大きな効果があったと考えています。

(1) (月曜日) 第579号 まい・たうん 2009年(平成21年)8月10日

発行所  
まい・たうん事務局  
〒811-1201  
福岡市西区西住1丁目1-46  
福岡市西区201号  
TEL 092-48106  
FAX 092-511-3570  
mytw@time.ocn.ne.jp

発行所  
まい  
MINI CO

「上野先輩に続け！」柏原中  
柏原中学校の生徒たちが、上野先輩の精神を継いで、ボランティア活動に励んでいる。写真には、生徒たちが清掃活動を行っている様子が写っている。

お盆の供物の収集は8/15(土)  
お盆の供物の収集は8月15日(土)に行われる。写真には、お盆の供物を収集している様子や、お盆の供物の種類が写っている。

大池通りの歩道拡張整備進む 今年中に雑交草盛茂  
大池通りの歩道拡張整備が進んでいる。写真には、歩道の拡張工事の様子や、雑草が盛茂している様子が写っている。

地域貢献で地もとに恩返し  
地域の環境を良くするために、地域貢献活動を行っている。写真には、地域貢献活動の様子や、地域の風景が写っている。

24長目で(株)新日本環境コンサルタンツ  
環境問題を解決するために、24長目で(株)新日本環境コンサルタンツが取り組んでいる。写真には、同社の社員が活動している様子が写っている。

お見合いしませんか？  
良縁をご紹介します！  
お見合いの場を設け、良縁をご紹介します。写真には、お見合いの場や、良縁のイメージが写っている。

8月 Summer  
コンタクトレンズ  
しのだ

写真3 井戸水の無料検査の募集

### 7.5.2 ツクシオオガヤツリの保全活動

ツクシオオガヤツリはカヤツリグサ科の湿地植物で、福岡県指定天然記念物、環境省レッドデータブック絶滅危惧種 IB 類に指定された植物です。福岡市の大濠公園に隣接する小さな池の群落が天然記念物に指定されています。この植物を実験室で栽培し、種の系統を保存すると共に、水質の浄化に利用しようとする研究(九州産業大学土木工学科)に協力しています。また、本年度は福岡市内の池、沼での分布状況の調査を実施しました。



写真4 ツクシオオガヤツリの保全の実験



写真5 ツクシオオガヤツリ  
(福岡県指定天然記念物)

#### 7.5.3 エコアクション21の広報活動

当社の取引先及び来客者に環境活動レポートを配布し、エコアクション21の取組について公表しています。また、当社のホームページで公開しています。

#### 7.6 次年度の取組内容について

次年度においても本年度と同様に二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減などに取り組みます。また、エコアクション21の2009年版への移行に伴い、新たに環境目標として、「化学物質使用量の削減」、「グリーン購入の推進」、「サービスの環境配慮」をかけた、取り組んでいきます。

当社の業務内容及び量は年度当初に行われる入札等の結果により大きく変化するため、取組目標の数値管理が難しい面がありますが、目標に向かって堅実に努力いたします。

## 8 . 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟などの有無

当社に係る環境関連法規の内容と遵守状況を確認した結果を表3に示します。表3に示すように、違反はありませんでした。過去3年間の違反は、2009年10月に四塩化炭素が下水の排除基準を超える濃度で検出され、改善処置を実施した事例の1件でした。その他、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情はありません。

表3 当社に係る環境関連法規と遵守状況

| 法律名等                      | 対象設備・作業等                       | 確認日         | 手段             | 確認 |
|---------------------------|--------------------------------|-------------|----------------|----|
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律          | 事業系一般廃棄物<br>産業廃棄物<br>(実験廃液、汚泥) | 6月4日<br>~8日 | 電話<br>現場<br>帳簿 |    |
| 下水道法                      | 特定事業場                          | 6月8日        | 記録             |    |
| 毒物及び劇物取締法                 | 実験室試薬類                         | 6月7日<br>~8日 | 帳簿<br>現場       |    |
| 悪臭防止法                     | 事業場                            | 6月10日       | 記録             |    |
| 消防法                       | 事業場                            | 6月7日        | 現場<br>帳簿       |    |
| 放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律 | 放射線同位元素装<br>備機器                | 6月10日       | 現場<br>記録       |    |

## 9 . 代表者による全体評価と見直し結果

---

2010年4月の「定期的見直し」での指示は以下のとおりでした。

- 1 . エコアクション21の取組をまだ完全に理解していない社員がいるように思われることから、各課のミーティングの中で、議題として取り上げ、話し合うこと。各課の取組状況の把握を月に1回実施すること。
- 2 . システムの改善、見直しをきめ細かに行っていくこと。チェックをしっかり行い、原因をしぼり込み、対策、改善を実施していくこと。

以上の指示があったことから、各課での取組状況を月1回の幹部会議で報告すると共に、変更、決定事項は朝の全体会議で周知することとしました。